

ごあいさつ

本市は、令和 3 年（2021 年）3 月に第五次大阪狭山市総合計画を策定し、翌年 3 月には大阪狭山市魅力ある都市空間ビジョン～都市計画マスタープラン～を改定することで、本市のめざすべきまちづくりの方向性を示してきました。また、大阪府では令和 2 年（2020 年）10 月に南部大阪都市計画区域マスタープランが改定され、令和 4 年（2022 年）12 月には大阪のまちづくりグランドデザインが策定されるなど、大阪全体の広域ビジョンが示されています。



本市においては公共施設や生活利便施設をはじめ、鉄道駅などの交通結節点、さらには市内全域を網羅し、他市の都市拠点にも乗り入れるバス交通など、都市インフラが一定整備されており、既にコンパクトかつ広域的なネットワークがあることで、利便性の高い生活圏が形成されている一方、近畿大学医学部及び近畿大学病院移転への対応や、今後の人口減少・少子高齢化社会の進行などを見据えた公共施設の再編、学校園のあり方など、まちづくりにおける重要課題への早期の取組みが求められています。

大阪狭山市立地適正化計画 魅力ある都市空間ビジョン～まちのリメイク編～では、これらの状況変化を踏まえつつ、上位計画で示す市の将来像を実現するため、「コンパクトシティ+ネットワーク」の視点から、さまざまなインセンティブを享受しながら、“まちのリメイク”をより一層推進していくための「居住を含めたさまざまな都市機能の誘導」や「広域公共交通ネットワークの形成」に関する中長期的な方策を示しています。

今後のまちづくりの推進にあたっては、大阪府や近隣市町村、公共交通事業者をはじめ、市民・市民団体、民間事業者などのあらゆる主体と連携・協働し、市の将来像実現に向けた取組みを全力で進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、活発にご議論をいただきました大阪狭山市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会委員の皆様並びにさまざまなご意見を頂戴いたしました市民の皆様に関心から感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

令和 6 年 12 月

大阪狭山市長 古川 照人